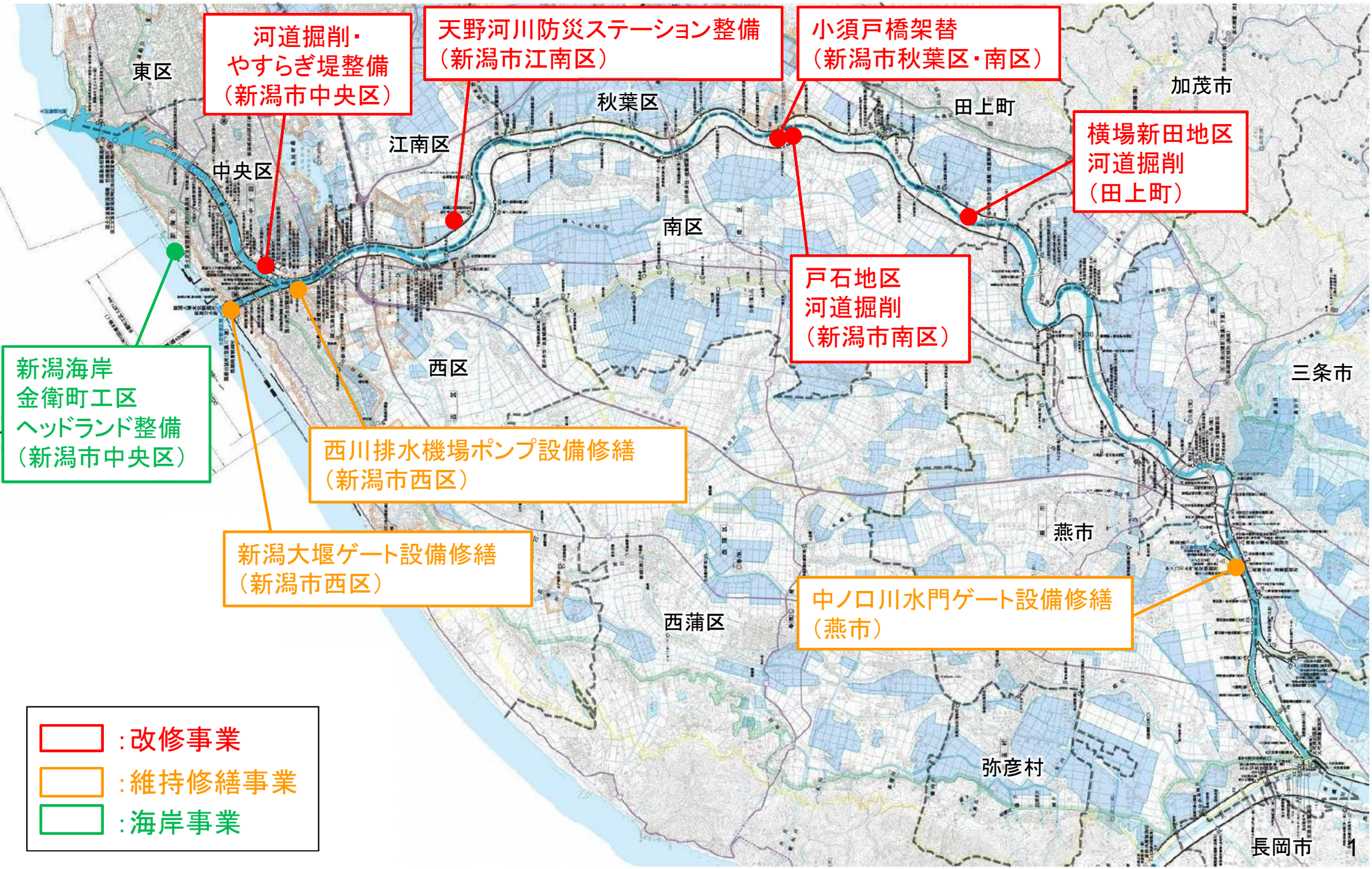


# 信濃川下流河川事務所の 令和5年度の主な事業について

国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川下流河川事務所







○ 新潟市南区戸石地区において、洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約65万m<sup>3</sup>の河道掘削を行っており、令和5年3月末現在で約5割まで進捗しています。



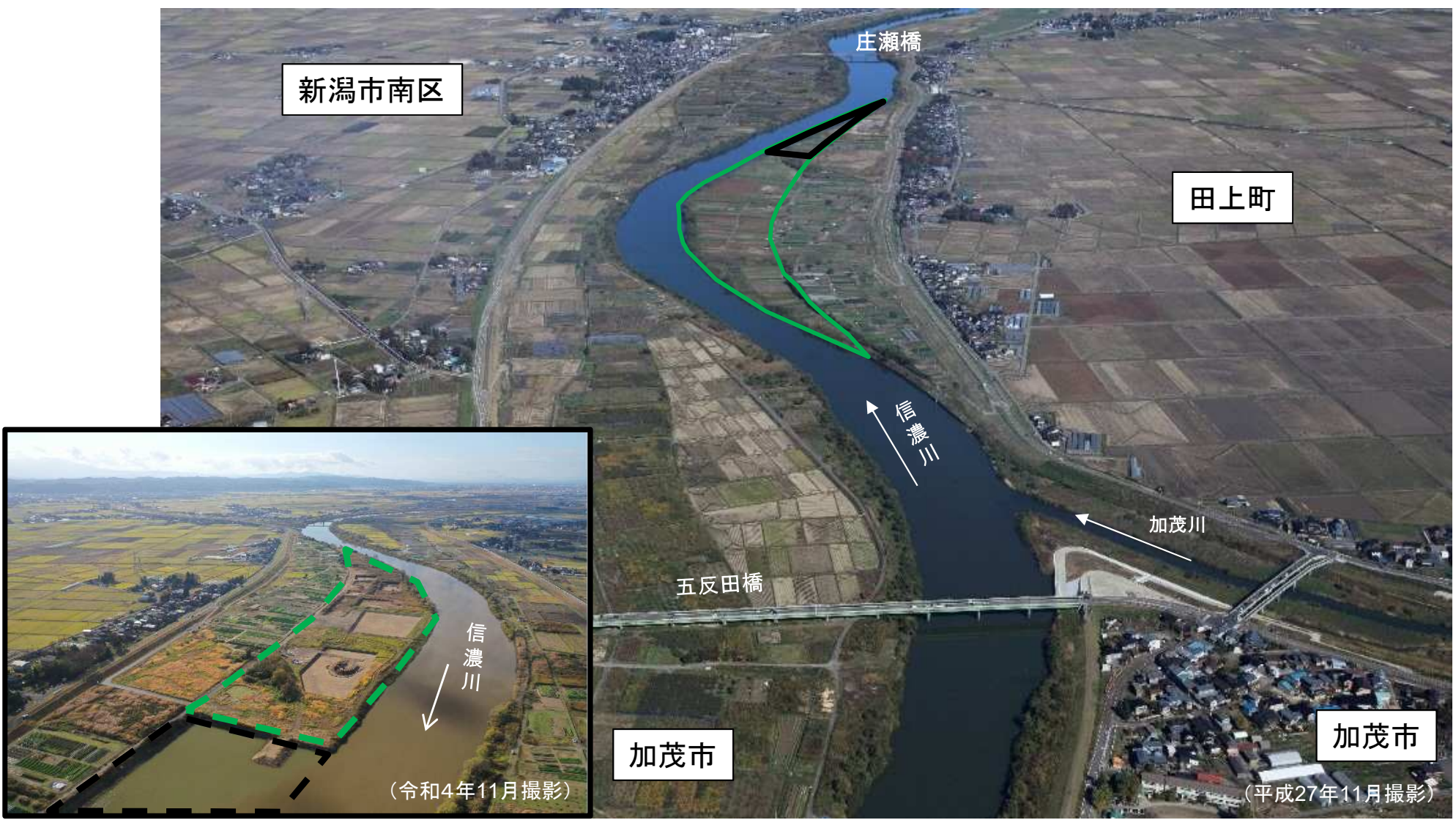
▭ : 掘削済み箇所

▭ : 令和5年度掘削箇所

▭ : 全体掘削予定範囲



○ 田上町横場新田地区において、加茂川等の支川合流部における洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約73万m<sup>3</sup>の河道掘削を行っており、令和5年3月末現在で約4割まで進捗しています。



▭ : 掘削済み箇所    ▭ : 令和5年度掘削箇所    ▭ : 全体掘削予定範囲



# 河道掘削の効果(事業連携、環境創出)

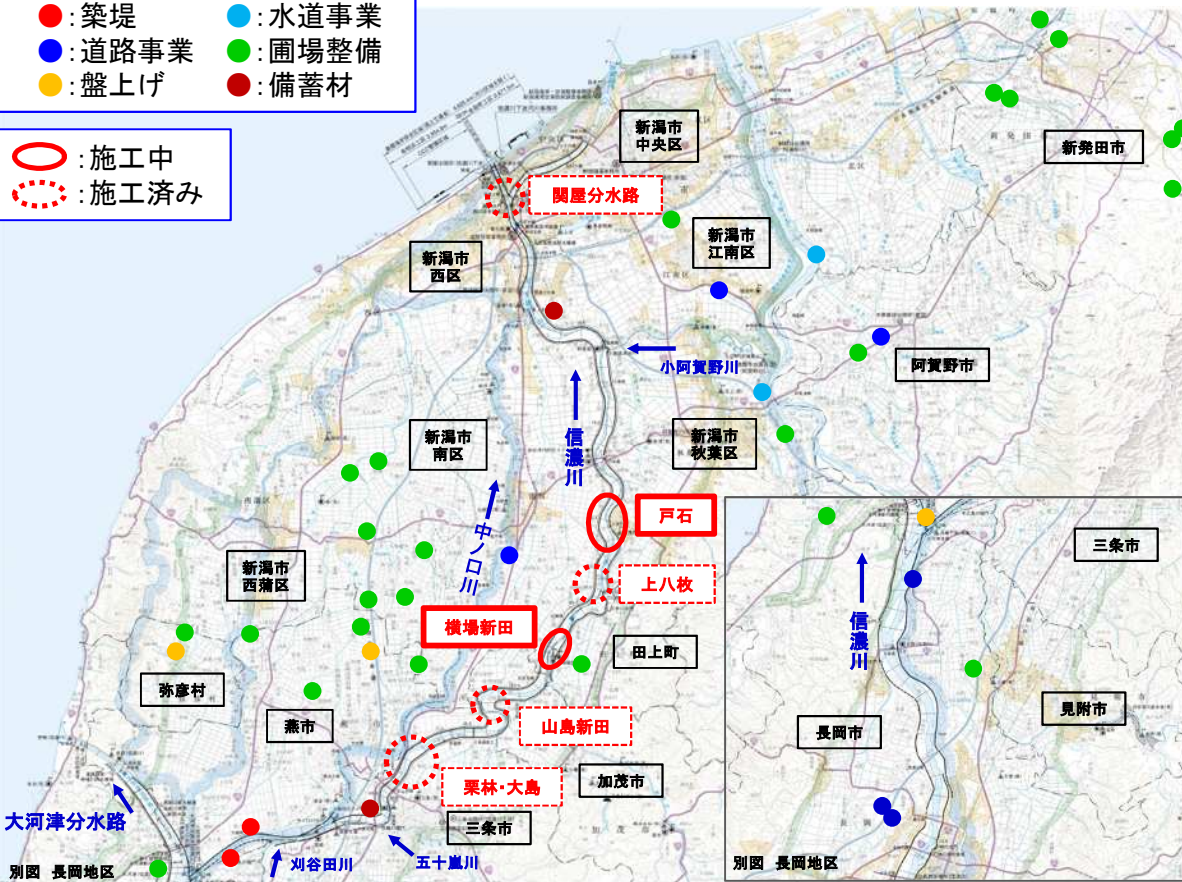
- 掘削した土砂は、圃場整備や道路等の盛土に有効活用しています。
- 河道掘削とあわせて湿地環境を再生し、トキ・白鳥等の多様な生物が住める環境の創出に努めます。

## 【土砂搬入先】

- : 築堤
- : 水道事業
- : 道路事業
- : 圃場整備
- : 盤上げ
- : 備蓄材

- : 施工中
- : 施工済み

(令和5年3月現在)



掘削前(H28)



掘削後(R3)



確認されたトウネン(R3撮影)



環境に配慮した施工箇所の工事後の状況(栗林・大島地区)

## 【河道掘削のコンセプト】

①水の流れる断面積を広げ、洪水時の水かさを下げる。





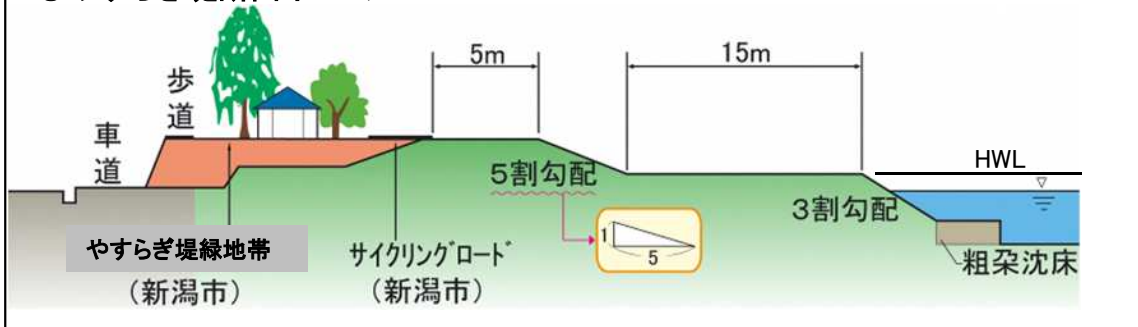
# やすらぎ堤の整備【工事実施中】

- 河口から4km～8.5kmの間では、都市部を流れる河川の親水性や景観を高めるため、5割勾配のゆるやかな堤防「やすらぎ堤」の整備を進めています（堤防整備率：約9割）。
- 新潟市と連携しながら、「水都新潟」の魅力あるまちづくりを支援します。



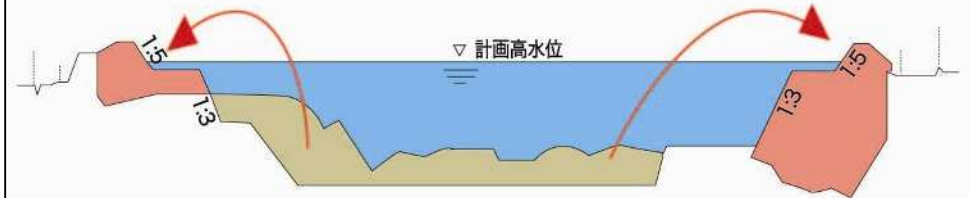
— : 施工済み箇所  
 ○ : 令和5年度 施工箇所

## ○やすらぎ堤断面イメージ



## ○河道掘削土砂による築堤(整備断面図)

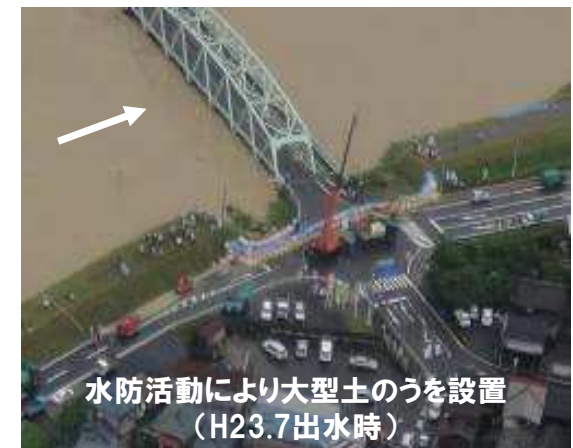
洪水を安全に流すため、河道の掘削を進めるとともに発生した残土を築堤材として有効利用。





# 小須戸橋架替 【工事实施中】

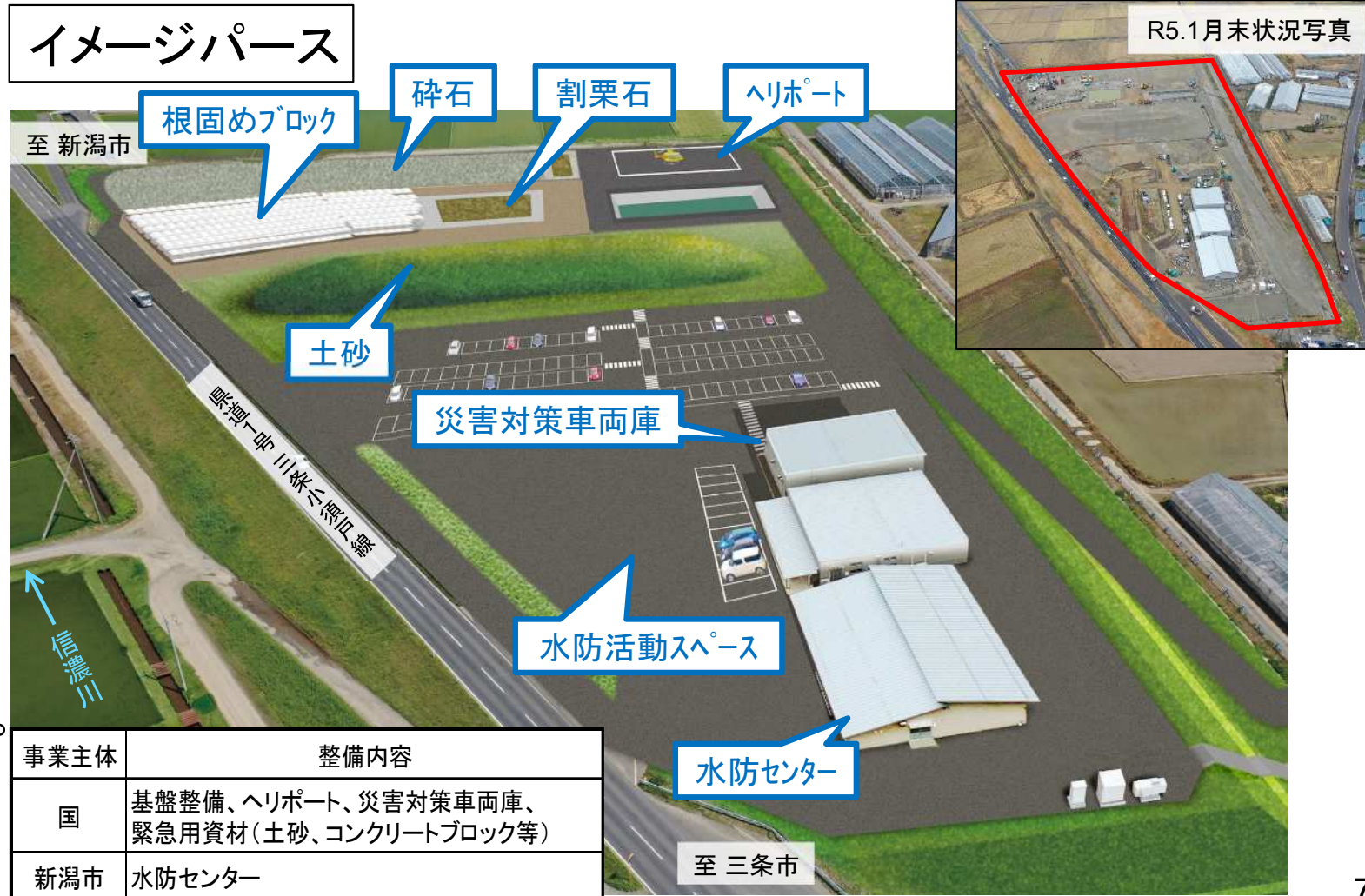
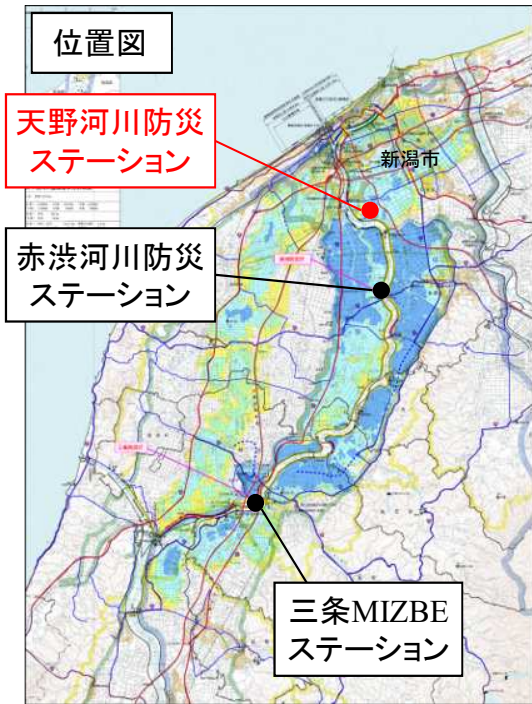
- 新潟市小須戸地先において、堤防高の不足と洪水流の阻害要因となっている小須戸橋（もぐり橋）について、道路管理者である新潟市と連携し、堤防の嵩上げ及び橋梁架替を行い、信濃川下流域の治水安全度の向上を図ります。
- 令和元年度に道路管理者である新潟市と施行協定を締結し、令和2年度より、小須戸橋架替工事に着手しています。令和5年度は、左岸取付道路地盤改良工事、P3橋脚工事を実施します。





# 天野河川防災ステーション整備 【工事实施中】

- 危機管理体制を強化し、水防活動や災害復旧活動を円滑に実施するとともに、平時には防災教育や地域の賑わいの拠点となる防災ステーションを、新潟市江南区天野地区に整備しています。
- 防災ステーションには、ブロックや土砂・砂利などの水防資機材の他、災害対策車両庫及び新潟市の水防団待機室等（水防センター）が令和5年2月に完成しました。
- 令和5年6月の開所を目指して着実に工事を進めています。



○信濃川下流域で3つ目の河川防災ステーションです。

- ① 三条市上須頃地区
- ② 新潟市南区赤渋地区
- ③ 新潟市江南区天野地区

事業主体	整備内容
国	基盤整備、ヘリポート、災害対策車両庫、緊急用資材（土砂、コンクリートブロック等）
新潟市	水防センター



# 新潟海岸(金衛町工区) ヘッドランド整備 【工事実施中】

- 海岸の侵食対策として、金衛町第1工区の第2号ヘッドランドを延伸することとあわせて、金衛町第2工区の砂浜復元を行う養浜工事を推進することで、波の打ち上げ高を低減することができ、背後地の安全度が向上します。
- また、砂浜を復元することで、憩いの場としても多くの方に利用されています。



※ヘッドランドとは  
T型または逆L型の人工岬

※人工リーフとは  
人工的に造られた浅瀬

- : 施工済み箇所
- : R5施工箇所
- : 施工予定箇所

**ヘッドランド施工順序**

1. 構造物撤去工 (既設ブロック撤去)
2. 突堤基礎工 (アスファルトマット敷設)
3. 突堤本体工 (捨石投入)
4. 突堤本体工 (海岸コンクリートブロック据付)

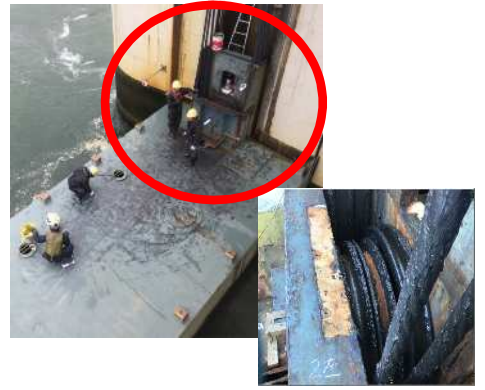


養浜状況(第2工区)  
令和3年10月撮影



- 信濃川下流には大規模な河川管理施設(堰、水門、排水機場)が多くあり、中には、完成後40年以上が経過し、老朽化が進行している施設もあります。
- これらの施設が洪水時等に的確に機能を発揮するため、長寿命化計画に基づいて点検・補修を実施します。

## 堰・水門



塩害による腐食の影響がある部品の更新を行う。

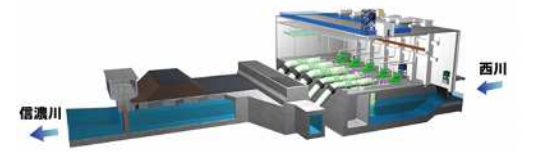
新潟大堰主ゲート ワイヤロープシーブ及びワイヤロープの交換



ゲートの安全動作を確保するための修繕を行う。

中ノロ川水門調節ゲート 開閉装置修繕

## 排水機場



西川排水機場



ポンプを分解し、内部部品の交換や腐食箇所を修繕します。

(4号)主ポンプ・主原動機分解整備



# 水防災教育等の取り組み

- 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会では、小中学校における水防災学習のための支援をしています。
- 環境学習、防災学習などの支援として、職員による出前講座やマイ・タイムライン作成支援講習会を実施しています。

## 水防災教育

### 平成30年度

- ・支援対象の学校側との打合せを行った上で、既存ツールを用いた学習を実施。
- ・必要なツール、指導ポイントを記載した水防災学習の指導計画となる防災教育資料(案)を作成。



### 令和元年度

- ・前年度の支援を受けて、学校が独自に水防災学習を自校化し実施。
- ・流域内市町村の教育委員会、防災担当課に共有し、学校での活用を依頼。



### 令和2年度以降～

- ・流域内市町村での取組事例や実績をベースに、各学校の地域特性、ニーズに応じた水平展開を支援。

## 出前講座

- ・小中学校に限らず、地域団体も含め職員による出前講座を実施。
- ・令和4年度は、7団体から申込みがあり、職員を派遣。



申込書は信濃川下流河川事務所ホームページよりダウンロード可能です。  
[http://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/sogo\\_gakusyu/sougou\\_moushikomi.html](http://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/sogo_gakusyu/sougou_moushikomi.html)

## マイ・タイムライン

- ・流域市町の住民を対象に、避難行動の一助とすべく、マイ・タイムライン作成支援講習会を実施します。

マイ・タイムラインについての詳細は  
 国土交通省ホームページをご覧ください。  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

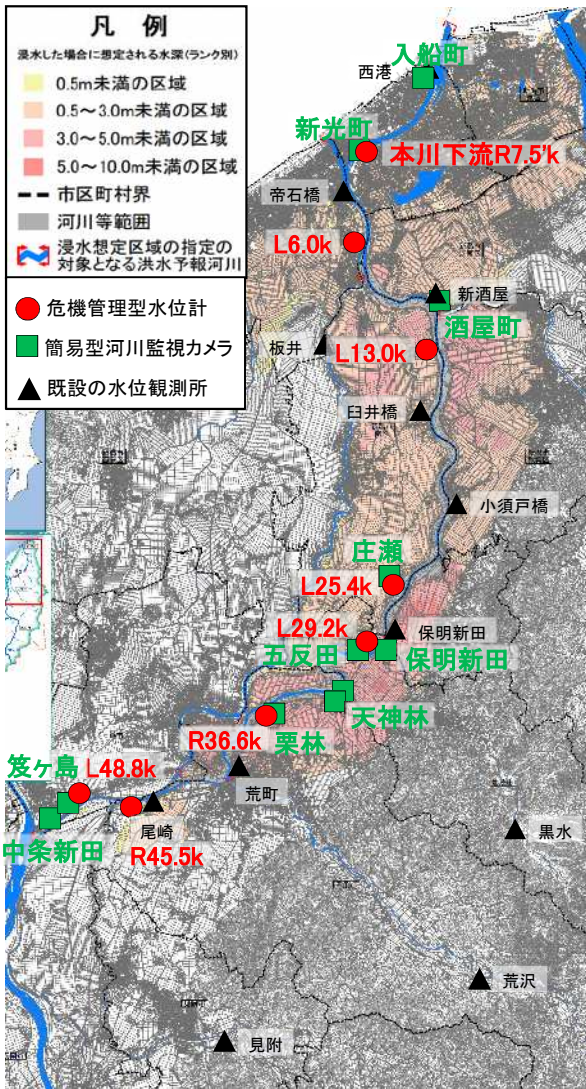




# 避難行動等の支援の取り組み

- 川の状況をリアルタイムで把握できるよう『危機管理型水位計』『簡易型河川監視カメラ』を設置しています。
- 水位情報やカメラの映像は『川の防災情報』でご覧いただけます。
- 近年、各地で洪水による大規模な被害が発生していることを受け、これまでの想定最大規模に加え、**多段階頻度に対するリスクマップ**を作成し、**地域の水害リスク**をよりわかりやすく発信しています。

## 観測機器等の設置箇所

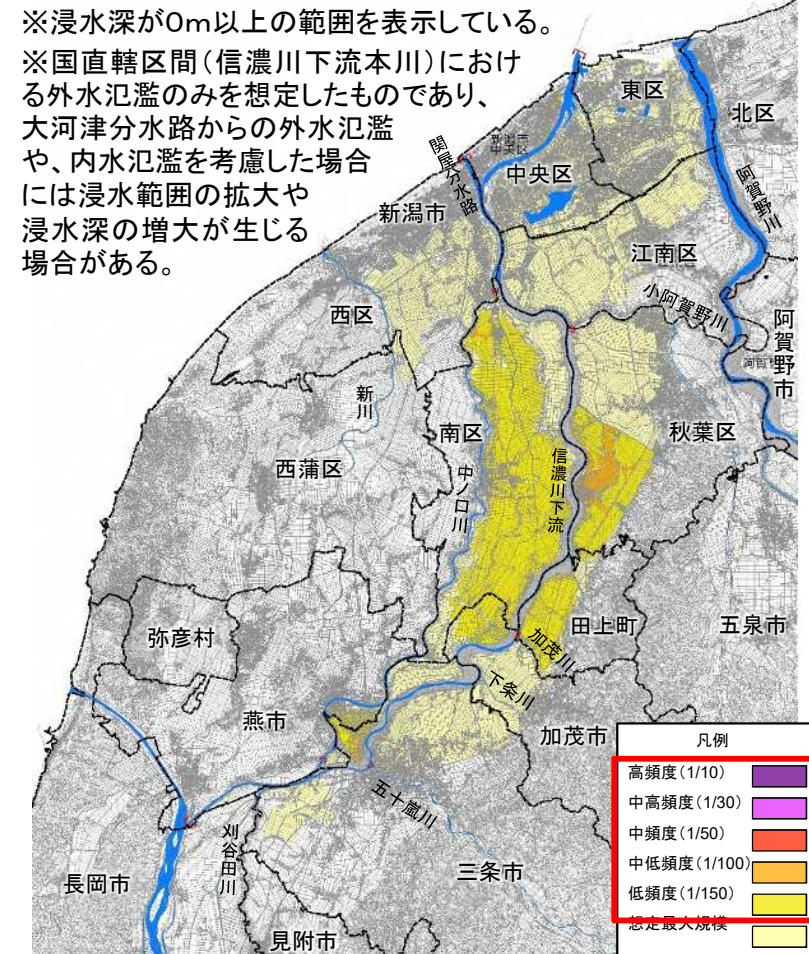


## 川の防災情報(表示例:パソコン画面)



<https://www.river.go.jp>

## 多段階頻度に対するリスクマップ



■信濃川下流河川事務所HP(水害リスクマップ)  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/sonae/risk/index.html>

